

～こども保険の保有契約件数と連動した寄付を通じ、少子化対策を支援～
「Hello! Baby 奨学金プログラム」寄付金の贈呈について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2015年4月24日、「Hello! Baby 奨学金プログラム」の寄付金374万円を公益社団法人日本助産師会へ贈呈しました。本プログラムは本年度で第6回となり、2010年の第1回からの累計で81名の方に2,602万円を贈呈しました。

本プログラムは、ひとりでも多くの助産師が誕生し、妊婦の方がどこにいても、より安心して安全な出産ができる環境づくりに貢献するために、公益社団法人日本助産師会の「助産師をめざす人のための奨学金制度」を支援するものです。こども保険の保有契約件数に応じて、当社経費のなかから毎年寄付を行なっています。

なお、本活動は「子どもの健全育成」に向けた社会貢献活動「子どもの明日 応援プロジェクト」の一環として実施しています。

1. 寄付先

公益社団法人日本助産師会*

2. 寄付の目的

産婦人科医・産科医が年々減少しているなか、助産師の絶対数の不足も課題となっています。助産師は、妊婦の不安や恐怖感を和らげ、安心して分娩できるように、保健指導や分娩時の介助、育児相談など、大きな役割を果たしています。

当社は、公益社団法人日本助産師会が実施している、助産師をめざす人のための奨学金制度の趣旨に賛同し、奨学金支援という形で助産師不足の解消に貢献したいと考え、2010年度から本プログラムを行なっています。

3. 寄付金額

374万円（助産師学生11人分の奨学金に充当）

※こども保険の保有契約件数3万件につき、学生ひとり分の奨学金34万円を寄付

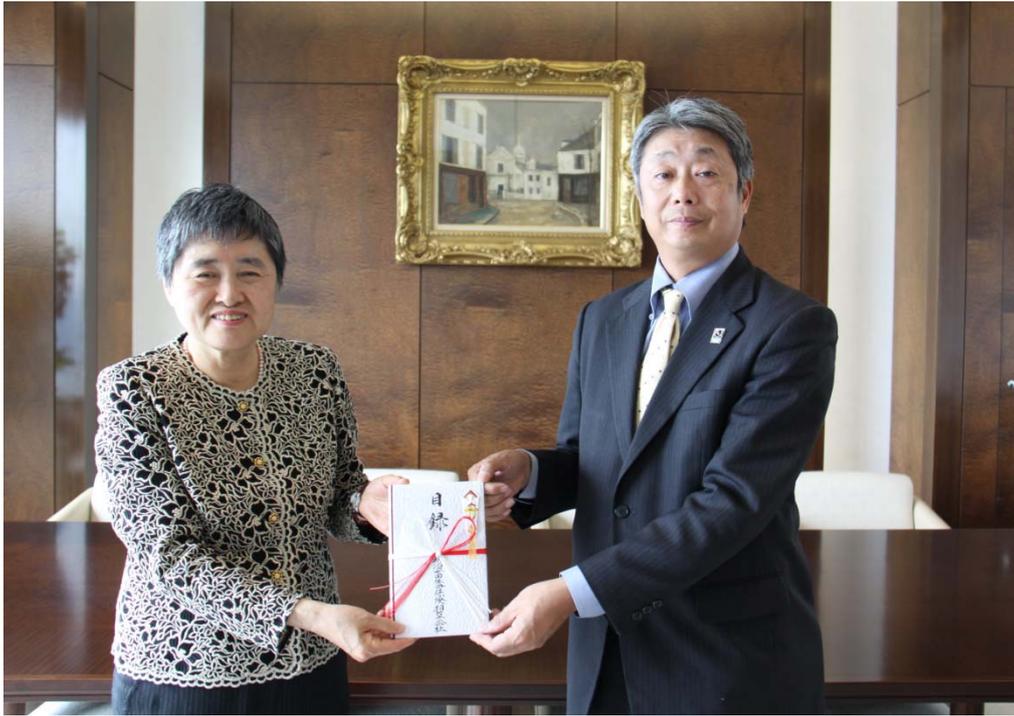
（2014年12月末のこども保険保有契約件数は338,963件）

*公益社団法人日本助産師会について

母子保健推進のため、全国の助産師の連携を図り、助産師業務の水準を維持し、その改善・向上に努めることを目的に1955年に創立された団体です。

（ホームページ <http://www.midwife.or.jp/>）

2015年4月24日 寄付金贈呈式の様子



公益社団法人日本助産師会 岡本会長（左）への目録贈呈

以 上

この春に、「助産師」の道をスタートされた方からいただいたメッセージをご紹介します。

この度は奨学金支給の機会を頂けたことを心より感謝しております。私の父は病気を患い、母に大きな負担をかけてしまっていました。家計が大変な中でも両親は助産師を志す私の背中を押し、夢を応援してくれました。妹の学費と重なったこともあり、両親への負担が思っていたよりも大きく、悩んだ時もありました。ですが、この奨学金を頂くことができたことにより、大変充実した学校生活を送ることができ、学業を継続することができました。この奨学金制度により、私は助産師になることができたと思っております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、妊産褥婦様、新生児そしてその家族に安心を与え、信頼される助産師となれるよう向上心を持ち、日々努力を惜しまずに仕事に励みたいと思います。

4月からは地元の病院で勤務する予定です。皆様から支えて頂いた御恩を周産期医療を支える一員として、日々精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

竹内 小起

この度は、奨学金支給の機会を頂けたことを心より感謝しております。私は中学生のときに受けた「命の授業」をきっかけに命の大切さを学び、誕生の瞬間に立ち会いたいと思い助産師を志しました。助産師の資格取得のためには、たくさんの教材や実習費用などのお金が必要でしたが、平日は1限から5限まで授業があり夜や土日などは授業の予習・復習が必要でアルバイト等をしてお金を稼ぐ時間をなかなかとることができませんでした。そのような時にこの奨学金を頂くことができたことにより、充実した時間を過ごすことができ、より集中して学業に専念することができました。

4月からは助産実習でお世話になった病院に勤務する予定です。より一層勉学に励み自分自身が理想とする助産師像に近づけるように努力していきたいと思います。そして今後もこのような奨学金制度を受け、助産師を志すことのできる方が増えることを心より願っております。本当に有難うございました。

山下 詩織

※竹内様・山下様のご了承を得て全文を掲載しております